

令和4年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部
美術科 油画専攻 一般選抜入学試験
実技試験

(木炭デッサン又は鉛筆デッサン)

問題

石膏像 ブルータス胸像をデッサンしなさい。背景の有無は自由とするが、試験用紙は縦位置で使用する事。

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 彫刻専攻

令和4年度 一般選抜

実技試験I 木炭・鉛筆デッサン（令和4年3月11日実施）

試験問題

「石膏像マルス」をデッサンしなさい

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 彫刻専攻

令和4年度 一般選抜 実技試験Ⅱ スケッチ・塑造（令和4年3月12日実施）

[試験問題]

以下の三つをモチーフにして、粘土で立体作品を制作しなさい。
「自分の片手・他人の片手・ゴムロープ」

[課題1] スケッチ、タイトル、制作意図（8：30～12：00） 200点

配布された画用紙にスケッチや文字を用いて、立体作品の構想を表しなさい。
解答用紙に作品のタイトルと制作意図（150字～200字）を記しなさい。

[課題2] 塑造（8：30～16：45 休憩は12：00～12：45）500点

試験問題にしたがって、粘土で立体作品を制作しなさい。

* 立体作品を制作する過程で、スケッチに描いた構想が変わっても構いません。

* [課題1] [課題2] はどちらから始めても構いません。時間の配分も自由とします。ただし [課題1] の画用紙と解答用紙は12:00に集めますので注意してください。

令和 4 年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 芸術学専攻

一般選抜入学試験

実技試験問題

ジョウロを各自で自由に配置し、解答用紙にデッサンしなさい。
そのうえで、ジョウロを応用した自身の作品、展示、プロジェクトなどを構想し、それらのプラン概要を簡単な図(ラフスケッチ)や文章を付して説明しなさい。
プラン概要は、ジョウロのデッサンの余白に、解答用紙内にかくこと。
構想に関しては、自由な発想も可能で、実現不可能なアイデアでもよい。

例 ジョウロをモチーフに取り入れた平面作品

例 ジョウロ型のカバン

例 ジョウロを用いたインスタレーション

*ラフスケッチを伴わない説明文だけでもよい

令和 4 年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 芸術学専攻

一般選抜入学試験

小論文試験問題

SDGs の 17 の目標*を参考にしながら、その 1 つ、あるいはいくつかを取り上げ、現代アートと関連づけて解答用紙に 1200 字程度で論じなさい。

* SDGs とは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。17 の大きな目標とそれらを達成するための 169 の具体的な項目からなる SDGs は、2015 年 9 月の国連サミットで採択されました。国連加盟 193 か国が 2016 年から 2030 年の 15 年間で達成するために掲げられた SDGs は、今後、日本の人々を含む世界中の人々が協力して取り組んでいかななくてはならない目標です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



令和4年度
金沢美術工芸大学 美術工芸学部
デザイン科 視覚デザイン専攻
実技試験Ⅰ(鉛筆デッサン)

受験番号	
------	--

【問題】

「自分の手」と「想定 of 植物」と「クリップ」を
自由に構成し、描写しなさい。

- 画用紙の縦横は自由とします。
- 画用紙の裏面中央に作品の上方向を矢印(↑)で記入しなさい。
- 画用紙の裏面に受験番号を記入しなさい。

(注意事項)

- 与えられたA4用紙は下書きに使用しなさい。
- 使用できるものは、デッサン用具のみです。
(ただし、デッサンスケールやはかり棒、定規、フィキサチーフ、
電動消しゴムの使用を認めません)
- 試験に関する質問は認めません。
- 問題用紙、A4用紙は試験終了後すべて回収します。

令和4年度
金沢美術工芸大学 美術工芸学部
デザイン科 視覚デザイン専攻
実技試験Ⅱ(色彩構成)

受験番号	
------	--

【問題】

「天気」を感じる画面を自由に構成しなさい。
ただし、数字(0～9)の中から
一文字を選び構成要素として加えること。

- ・与えられた画材のみを使用しなさい。
- ・ボード全面に着彩しなさい。
- ・ボードの縦横は自由とします。
- ・ボードの裏面中央に作品の上方向を矢印(↑)で記入しなさい。
- ・作品にタイトルをつけて、裏面の受験番号の下に記入しなさい。

(注意事項)

- ・からすぐち、マスキングテープの使用は認めません。
- ・色見本帳の使用は認めません。
- ・試験に関する質問は認めません。
- ・問題用紙、下書用紙は試験終了後、すべて回収します。

令和4年度
金沢美術工芸大学 美術工芸学部
デザイン科 製品デザイン専攻
実技試験 I

受験番号	
------	--

問題：

「ポリタンク」「コンクリートブロック」「ステンレスカップ」「タオル」
「ペットボトル」全てを提示された状態で描いてください。

- 条件：
1. 全てのモチーフを画面に納めること。
 2. ペットボトルは手前の1本のみを描くこと。
 3. モチーフの下の白い台は描かないこと。
 4. 用紙の縦横は自由とする。

- 注意：
1. 試験問題に関する質問は受け付けません。
 2. 問題用紙の空欄はメモに使用し、受験番号を記入し画用紙と一緒に提出してください。
(足りない場合は裏面を使用してください)

令和4年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部

デザイン科 製品デザイン専攻

実技試験 II

受験番号	
------	--

問題：

試験管を用いた美しい造形の「一輪挿し」をデザインしてください。

- 条件：
1. 与えられた試験管1本を用いること。
 2. 自立すること。
 3. 試験管は、水の交換のために取り外しができること。
 4. スケッチで複数のアイデアを検討すること。
 - ・ スケッチは、この問題用紙の余白や裏面を使用すること。
 5. 粘土で立体造形を検討し、デザインを決定すること。
 - ・ 粘土のモデルは、美しく仕上げること。
 6. 本体の材質や表面仕上げ、色彩を自由に考えること。
 7. 試験管に生ける花を想定すること。

- 配布物：
1. 画用紙(B3サイズ 1枚)
 2. 問題用紙(A3サイズ 1枚)
 3. 試験管(直径18mm×長さ180mm 1本)
 4. 粘土、粘土ヘラ、粘土板、ビニール手袋
 5. 色鉛筆

- 提出物：
1. 画用紙
 - ・ 花を生けた一輪挿しを色鉛筆で精密に表現すること。
 - ・ デザインポイントを画用紙の余白に、イラストや文章で表現すること。
 - ・ 用紙の縦横は自由とする。
 2. 制作したモデルと粘土板
 - ・ 試験管は、モデルにセットした状態で提出すること。
 3. 問題用紙

- 注意：
1. 試験問題に関する質問は受け付けません。
 2. 問題用紙、配布物は全て試験終了後に回収します。
 3. 粘土をこねる際に大きな音を立てないようにしてください。

受験番号：

令和4年度

金沢美術工芸大学美術工芸学部デザイン科環境デザイン専攻

一般選抜実技試験Ⅰ

[問 題]

卓上のモチーフすべてを画面に収めて、鉛筆で描いてください。

[条 件]

用紙の縦横は自由とします。

[注 意]

- ・ 問題に関する質問には答えられません。
- ・ モチーフに触れないでください。
- ・ 机に貼ってある受験番号札より左側にはみ出ることなく作業をしてください。
- ・ スケールやはかり棒、定規は使えません。
- ・ 練り消しは音を立てないように静かに使用してください。
- ・ 席から離れて画面を見ることは認めません。
- ・ 問題用紙の空欄や裏面はメモとして使用してください。
- ・ 問題用紙は試験会場からの持ち出しを禁止し、試験終了後に全て回収します。

受験番号：

令和4年度

金沢美術工芸大学美術工芸学部デザイン科環境デザイン専攻

一般選抜実技試験Ⅱ

[問題]

配布された素材を用いて、新しいスポーツを行うための場を立体物として表してください。別紙に作品タイトルと説明を記し、そのスポーツを行っている様子を簡潔なスケッチにしてください。

[条件]

- ・新しいスポーツを各自考えてください。
- ・立体物の大きさは台紙の幅・奥行き範囲とし、高さ 30 cmを超えてはいけません。

[注意]

- ・問題に関する質問には答えられません。
- ・作業は自席に座っておこなってください。
- ・素材の切断はカッティングマットの上でおこなってください。
- ・立体物は台紙に接着して、しっかり固定してください。
- ・A4サイズのコピー用紙は、形の検討や考えをまとめる等に使用してください。
- ・問題用紙、配布物は試験会場からの持ち出しを禁止し、試験終了後に全て回収します。

受験番号

【タイトル】

【説明】

【スケッチ】



令和4年度 金沢美術工芸大学 工芸科

実技試験Ⅰ「鉛筆デッサン」

問題

「段ボール箱」「ペットボトル」「練炭」
「長ネギ」「タマネギ」「マッチ」「写真用紙」

をモチーフとし、以下の条件に従いデッサンしなさい。

<条件>

- ・画面は縦位置・横位置自由とする。
- ・モチーフの配置は自由とする。但し、「写真用紙」は光沢のある面を上にして、板の上に敷いて使用すること。

<注意>

- ・配布した草案用紙を使用し、持参した紙やスケッチブック等は使わないこと。尚、草案用紙は最後に回収する。
- ・この問題用紙は昼食時間前に回収する。
- ・ペットボトルの蓋は開けないこと。
- ・マッチは箱から出してもよいが、火はつけないこと。
- ・この問題に対する質問には応じない。

<配布物>

問題用紙 : 1枚

モチーフ : 「段ボール箱」1個、「ペットボトル」1本、「練炭」1個、
「長ネギ」1本、「タマネギ」1個、「マッチ」1箱、「写真用紙」1枚

草案用紙 : 5枚

令和4年度
金沢美術工芸大学
工芸科
実技試験Ⅱ「色彩表現」

問題

与えられたモチーフを構成し、条件に従って色彩表現をなさい。

条件

- ・モチーフは「目玉クリップ」と「マスキングテープ」とする。
- ・画面内でのモチーフの数、大きさ、表現方法は自由とする。
- ・「マスキングテープ」の扱いは自由とし、色や模様を想定することができる。
- ・画面は縦位置・横位置自由とする。
- ・画面の表側、上部中央に天地を表す○印を鉛筆で記入すること。

注意

- ・「マスキングテープ」を直接画面に貼り付けないこと。
- ・配布物のハサミはモチーフではありません。「マスキングテープ」を切る際にのみ使用する。
- ・草案用紙を配布するので、持参した紙やスケッチブック等は使わないこと。
- ・モチーフと草案用紙とハサミは試験後に回収する。
- ・この問題用紙は昼食時間前に回収する。
- ・この問題に対する質問には応じない。

配布物

- ・問題用紙：1枚
- ・モチーフ：「目玉クリップ」1個、「マスキングテープ」1巻
- ・B3 バロンケントボード：1枚
- ・草案用紙：5枚
- ・ハサミ：1丁